

NEWS LETTER 72

VOL. 72
2016
TAKE FREE

News Letter

vol.72

2016年11月1日発行

宝塚大学 東京新宿キャンパス 東京メディア芸術学部 | 大学院 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目11番1号
TEL:03-3367-3411 FAX:03-3367-6761 E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp

第10回 宝翔祭開催!!

Student! 解体新書!
山下 雄大さん

Report!
東京おもちゃまつり2016

Teachers at Work!
柴田 こずえ 非常勤講師

リレーマンガ
『はらぺこ新宿食い道楽』第七話

HOT TOPICS

なりたいたいわたしに近い大学。

都心のキャンパスだから
発信する場がいっぱい!

社会に 近い。



先生は第一線で活躍する
現役クリエイター

教員に 近い。



各沿線の新宿駅から
歩いてすぐ

新宿駅に 近い。



各沿線
新宿駅から
徒歩約5分!

学びの特徴

現役クリエイターによる指導のもと、領域の枠を超えて学べるカリキュラムで一人ひとりに合わせた学びを実現!

POINT 1

現場で活きる教育を実践
先生=クリエイター

POINT 2

+αの学びが力になる
選べるカリキュラム

POINT 3

きめ細やかな対応が可能
少人数制の授業

進学 相談会

11/26 ±

2017 1/28 ± | 2/18 ± [時間] 13:00 ▶ 16:00

入試やキャンパスライフなど、様々な質問にお答えします。
ぜひお気軽にご参加ください。



ACCESS アクセス



- JR「新宿」駅(西口)から徒歩約5分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅から徒歩約3分
- 地下鉄丸ノ内線「新宿」駅から徒歩約4分
- 西武新宿線「西武新宿」駅から徒歩約4分
- 小田急線「新宿」駅から徒歩約5分
- 京王線「新宿」駅から徒歩約5分
- 都営新宿線「新宿」駅から徒歩約5分





4F

食販が中心となった4階。常に多くの人で賑わっていました!!

グループ創造サークルの「まりも魚釣り」。見事魚を釣った参加者はお菓子の詰め合わせがもらえました。

コスプレサークルによるカフェでは、独自のドリンクが提供され、好評でした。



5F

10階では、まっちゃん部によるプロジェクションマッピングを使用した茶会、アニメーション領域による展示・体験会、多くのペットたちの写真が展示されている親ばか写真展が開催されました。



YDK

有志の学生によるダンスパフォーマンス。圧巻の演技でした!!



いつもお祭りモードな軽音サークル。2日目のステージでは渡邊准教授が踊る場面も。



軽音サークル



創造基礎

1年生が創造基礎の授業で自己(エゴ)バックを作成。ランウェイを歩く姿はまるで本当のファッションショーでした。



コスプレサークル

コスプレサークルのダンスは、まるでキャラ本人が踊っているかのよう。動くたびに歓声が上がりました。



10F

イラストレーション領域や卒業生の作品展示がメインの5階。立体作品からマンガ冊子まで、様々な作品が展示されました。

第10回 宝翔祭開催!!



2F

即売会や作品の展示、入り口前では焼きそばを販売するなど、企画が盛りだくさんでした!!



3F



Entrance



らじまる

横須賀で放送中のFMブルー湘南の番組「らじまる」でのトークと歌を再現。「飼い主から見た動物たち」について考えさせられました。



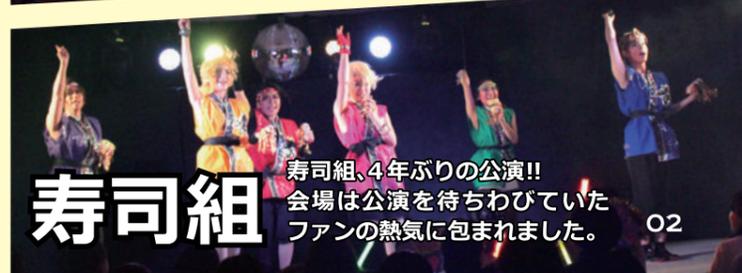
アニソンDJ

みんな大好きなアニソンがDJのオリジナルmixで流されました。



町あかり

シンガーソングライター、町あかりさんによるライブパフォーマンス。学生もオープニングの演奏で参加し、ステージを盛り上げました。



寿司組

寿司組、4年ぶりの公演!! 会場は公演を待ちわびていたファンの熱気に包まれました。

Student! 解体新書!

東京メディア芸術学部^に在学中の学生に突撃取材する企画!
学生のリアルな生活、好きなもの、こと、持ち物まで赤裸々に公開します!

やましたゆうた
山下雄大

1997年生まれ。横浜市出身。
横浜高等学校卒業。
5歳でピアノを始める。中高と吹奏楽部に所属し、ホルンを担当。趣味は散歩と音楽。コンテンツデザイン領域1年。



→《パソコン》
どこでも時間があるときにプログラミングの勉強をしたり、情報収集ができるよう、常に持ち歩いています。コンパクトで動作もサクサクなので今では欠かせないアイテム。



↑《リュックサック》
毎日使っているリュックサック。見た目以上に大きく、授業道具がみんな入ってしまう頼もしい相棒。



→《スマホ》
香港版のSIMフリースマホ(Xperia m4)で音楽プレイヤー代わりに使っています。一見普通のスマホなのですが、香港版であるということとSIMフリーであるということに惹かれて購入。



↑《書籍(5年後、メディアは稼げるか)》
バッグの中には常に小説かメディア関連の本を入れてしています。情報収集と気分転換をかねて読んでいます。



↑《ホルン》
中学3年生のときから使い続けてきた相棒のような存在。今後の何かしらの活動で使っていけたらと思っています。

運動好きな少年から、体育会系文化部の吹奏楽部に

今思うと、小学生のときは活発な男子でした。運動しか取り柄がないっていうぐらい、友達と遊んで、スポーツに没頭していました。中学校からは私立の中高一貫の男子校に入学しました。スポーツも盛んで運動部に入るとしてもかなり真剣に、努力を積み重ねていかないと続かないと感じましたね。家族の中で母以外、全員音楽の経験があつて、よく自身も5歳のときにピアノを習っていたんです。吹奏楽部に入つて演奏ができれば、野球部の応援にも行ける。こういうスポーツとの関わり方もいいなと思つて、吹奏楽部に入りました。

吹奏楽部は、「体育会系文化部」と言われるぐらい練習も厳しく、しっかりと音楽に向き合う部活でした。男子だけだったので仲間もよく、中学時代からは吹奏楽にどっぷりはまつてしまいました。中高一貫だったので、そのまま高校に進学し、引き続き吹奏楽部に所属しました。中学から吹き始めたホルンもだいぶ上達してきました。高校の部活ではコンクールを目指すような部活ではなく、いろいろなところで演奏して「人を喜ばせる」ことを目的にしています。学校の外でも何度も演奏会をしました。音楽を通して人を喜ばせる楽しさを学んだ気がします。

音楽からは離れたくない

高校卒業後、音大に行きたい気持ちは多少ありました。でも、音大に入ること自体が難しく、大学卒業後もプロとして音楽活動が続けていくことはハードルが高いと感じていました。プレイヤーとして音楽をやるのは難しいけど、音楽に関われる仕事に将来就けたらな、と思つていました。そんなときに、趣味で描いていた絵が功を奏して、定期演奏会のポスター制作の依頼が来たんです。わからないなりにデザインをやつて、なんとか形にしました。その制作が自分の中でとても楽しい経験で、デザインで音楽と関わろうと思つたんです。ものづくりができて、企画もデザインも学べる大学に行きたい。そう思つて宝塚大学に入学しました。

やりたいことを実現するために

入学して半年経つて、徐々に大学生活に慣れてきました。将来のこともまたよく考えられるようになって、授業以外にも活動範囲が広がってきています。具体的にはアーティストのラジオ番組の企画構成、制作進行をやつてみたり、ライブでの演奏を担当したりと現場感のある経験をすることができました。

コンテンツデザインという比較的新しい学問を学んでいるので、毎日が楽しいです。プログラミングの勉強も始めたり、音楽にも関わつたプロジェクトも体験できました。将来はウェブを通して社会と向きあつていきたいと思つていますが、先生からは「ウェブだけじゃダメだぞ」と常日頃いわれています。ネットの技術とウェブデザインの知識、いい企画が出せる頭を持てるように、世の中のコンテンツをたくさん見ていきたいです。



シンガーソングライター町あかりさんのライブでコンテンツデザイン領域の仲間たちと演奏。ホルンを担当し、このとき流した曲の編曲も担当しました。



紙相撲体験

力加減が意外と難しく、2人して本気で叩きすぎて、勝敗はつきませんでした。



壺

kamizumo

おもちゃの縁日

東京おもちゃまつりの花形！昔懐かしい紙相撲やブンブンゴマなどの、遊べるおもちゃの展示販売や、手作りおもちゃのワークショップなどが行われていました。



ブンブンゴマ 手作り体験

作り方から回すコツまで、丁寧に教えてくれました。ブンブンゴマって意外と奥が深い…!!



Amazing... ☆

広大な遊び場

神様をかたどったブローチが売られていたり、エンターテイナーの方がいたり...と、楽しい空間!!



参

おまつり広場

大規模な遊びのコーナーが展開されており、子供たちが楽しそうに遊んでいました。また、飲食・休憩所や販売所などのスペースもあり賑わっていました。



式

おもちゃふれあい ミュージアム

作ったり、ふれて遊べる体験型のミュージアム。展示されているおもちゃで実際に遊ぶことができます。木で作られた遊具が沢山あり、とても落ち着く空間でした。



東京おもちゃまつり2016

REPORT!!

オトナだけど、思いっきり楽しむことができました!

What?

東京おもちゃまつりとは?

東京おもちゃまつりは、全国のおもちゃコンサルタントを中心に、木のおもちゃを扱うメーカー、自治体、さらには遊びに関わる関連企業から大道芸人まで、総勢100団体以上の出展者が繰り広げる、1年にたった2日しか開催しないおもちゃの祭典です!



Tokyo Toy Festival

会場となった東京おもちゃ美術館

故・前館長の多田信作が「人間が初めて出会うアートはおもちゃなのでは?」という理念で「美術館」と名付け、おもちゃを「見る」「借りて遊ぶ」「作る」「調べる」の4つの特徴を備えた美術館として中野に開館。グリコのおまけから世界の伝承玩具など、収蔵品は100カ国10万点以上に及びました。その後、2008年に旧新宿区立四谷第四小学校に美術館は移ります。当廃校は地域の寄付によってドイツの建築家が設計したもの。1935年築という古い建物で、奇跡的に戦災を免れた歴史的建造物でもあります。

ACCESS



東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」2番出口より お子さま連れで徒歩7分

東京都新宿区四谷4-20 四谷ひろば
開館時間 10:00-16:00(入館15:30まで)
休館日 木曜日(2月と9月に特別休館日あり)

Teachers at Work!

東京メディア芸術学部在籍している講師たちを紹介するページ！
学校での活動のほか、外部での仕事が多いのが本学の特徴でもあります。



子どもの本にまつわる仕事をスタートさせたのは『MOE』という絵本関係の雑誌の編集部に入ったときです。この仕事に就こうと思ったのは、高校生のときにあらためて絵本に出会う機会があったので、子ども向けの本をつくることに興味を湧かしたからです。ひとは『100万回生きたねこ』という絵本の出会い。もうひとは授業で英文を訳す時間に出会った英文。ミルンという児童文学作家のエッセイで、『ぼくは子どものために本を書いているわけではない』と書かれていたんです。ミルンの代表作は『クマのプーさん』で、子どもの本をつくる人が、子どものためにつくっているわけじゃない、と言っているのはどういうことなんだろうかと。そのときから絵本作家や、子どもの本をつくっている人たちにも興味を湧いてきました。『MOE』編集部に約4年在籍したのち、フリーランスの編集者になりました。今は絵本を軸に、書籍編集や雑誌編集の仕事もしています。

こんなにも絵本に惹かれていた理由のひとつは32ページにもかかわらず、絵と言葉によって深い世界が表現されているからだだと思います。15見開きで、1つの世界観をつくること。授業でも、このページ数の中で絵を描いてもらって絵本づくりの授業をしています。絵本の主な読者は子どもなので、人の素にある感情、例えば「喜怒哀楽」といったものが表現されている作品が多いと思います。大人になってから絵本を見ておもしろい！と感じるのは、そうした素の感情は子どもの頃と同じだからでしょうね。

絵を描くこと、ストーリーをつくること以外にも、絵本のルールのようなものも教えています。デジタル化された絵本は少なく、基本的には『紙』ですよ。ページをめくることで場面が変わったり、時間がかわったり、未知のものや未来はめくるページの向こうからやってくるなど。絵本に1Pは、とても重要だと捉えています。一枚絵を描くことに慣れていても、ストーリーが続いていく絵を描くことは大変です。それでも、自分がつくりたいと思ったストーリーと絵を作り上げて一冊の形にすることは、有意義なことだと思います。形にできる技術は素晴らしいことなので、学生時代にぜひとも挑戦してほしいと思います。

自分が考えたストーリー、自分が描いた絵で世の中に表現できる『絵本』という存在をめぐって楽しいと思っています。漫画やイラストレーションの世界でも自分は表現できますが、未来を担う子どもたちに、そして今に生きる大人たちに、絵と言葉で何かを伝えられる絵本作家という仕事はとても魅力的だと思います。



編集を担当した絵本。作家と企画をスタートさせてから形になるまでの時間は半年ということもあるし、5年ということもある。



「絵本作家になるには」(共著)は中・高校生向けに仕事を紹介するシリーズの1冊。絵本の周辺のことをわかりやすく説明している。(ペリカン社)



「別冊太陽・海外の絵本作家たち」は6人の作家にインタビューをまとめたもの。「別冊太陽・こわい絵本」は共著で絵本のセレクションと紹介を担当。(平凡社)

しばた 柴田こずえ 非常勤講師

Profile

1963年生まれ、東京出身。
絵本関連の雑誌「MOE」の編集ののち、フリーランスで子どもの本の編集や、取材・執筆に携わる。主な著書としては作家のインタビュー「別冊太陽・絵本の作家たちⅢ、Ⅳ」「別冊太陽・海外の絵本作家たち」、「絵本作家になるには」(共著)など。

食欲の秋です!!

はらぺこ 新宿食の道楽

第7話

今日もどんどん
モリモリ
美味しい物を
食べましょう!!



このカレー、
すっごく濃厚で
美味しいわね!

美味



気を取り直して、
いただきます!

高さ →
40cm

ね!
カレーはもちろん、
付け合わせも
美味しいよ!
私はタンドリーチキンと
うどんが好きだな!

日本-カレーに合う、おとん

10月21日 二年生のペコと原ちゃんが大学近くの美味しい飲食店を紹介します!

今日は、もうやんカレー
大忍具(だいにんぐ)
さんで

ランチ限定の
カレービュッフェを
頂きまくるわよー!



ビュッフェ千円は
学生にはありがたい
よね



サラダや
付け合わせも
山あつてね
迷っちゃうね

ペコ!!



もうやんカレーを一皿食べると
どんぶり一杯くらいの
野菜を食べたことになるのよ!!
つまりはサラダを食べる事と同等!!

やめて原ちゃん
はずかしい
サラダ好きさん



さつと

第二回戦

おかわり



行くと
しますか...!!

：残念原ちゃん!
午後の授業開始まで
あと10分です!
急いで大学に戻らないと

はあ!?



すみません!
追加で、持ち帰りの
ビュッフェ弁当
お願いします!!

なんだか
デジャブだね
原ちゃん



大学で
食べるわよ!
ペコ!

もうやんカレー
大忍具!!!

もうやんカレー 大忍具

・東京都新宿区西新宿
8-19-2 TKビル1F

・土曜定休日

・昼 11:30~15:00
(L.O.14:30)

・夜 18:00~23:30
(L.O.22:30)

・大学から徒歩10分

HOT TOPICS

本学学生と大学院生が若松ふれあい祭りで、クロマキー撮影と似顔絵缶バッジを開催

新宿区の若松地域センターで9月25日に開催された、「若松ふれあいまつり」に今年も参加いたしました。学生たちは子どもたちの求めに応じて似顔絵を描き、その場で缶バッジを作成する「似顔絵缶バッジ」、子ども達が思い思いのポーズでクロマキー撮影を行い、本学生が描いたイラストと合成して、イラストの中に迷い込んだような写真を持ち帰れるワークショップ「2.5次元写真クロマキー」の2つのブースを出展。多くの来場者から好評を博しました。



デザイン表現研究室が、川崎市立商業高校文化祭でのプロジェクションマッピング制作に協力

デザイン表現研究室が、川崎市立商業高校文化祭「川商祭」でのプロジェクションマッピング制作に協力しました。10月1日に行われた川商祭のオープニングイベントで体育館ステージ側壁面に投影され、文化祭テーマの「百花繚乱」に合わせて同高校の生徒が企画しました。デザイン表現研究室では渡邊哲意准教授が投影壁面の測量法、機材選定などプロジェクションマッピング実施に関わる指導をしたほか、生徒が制作した絵コンテと素材をもとにした動画制作を研究室の学生が指導しました。



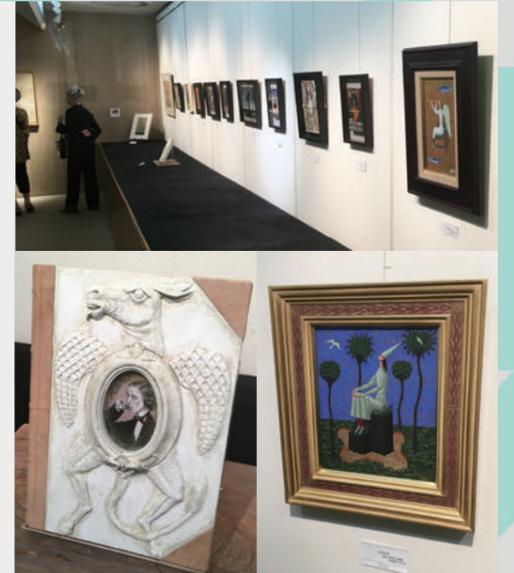
デザイン表現研究室が協力した、新宿フィールドミュージアムオープニングイベントが開催

デザイン表現研究室の教員と学生が協力した、新宿フィールドミュージアムオープニングイベントが9月30日に住友不動産新宿グランドタワーで開催されました。この特別公演は10月1日から11月30日まで新宿区内で開催される文化芸術イベント「新宿フィールドミュージアム」のオープニングイベントとして行われ、日本舞踊・電子音楽・CG映像によるコラボレーション公演です。宇塚鳥「Bircco」作者の河口洋一郎ら一流アーティストによるライブ&トークが主な内容となり、渡邊哲意准教授と学生は東大河口研究室と協働でインタラクティブ映像を投影したほか、舞台設営、照明技術で協力しました。



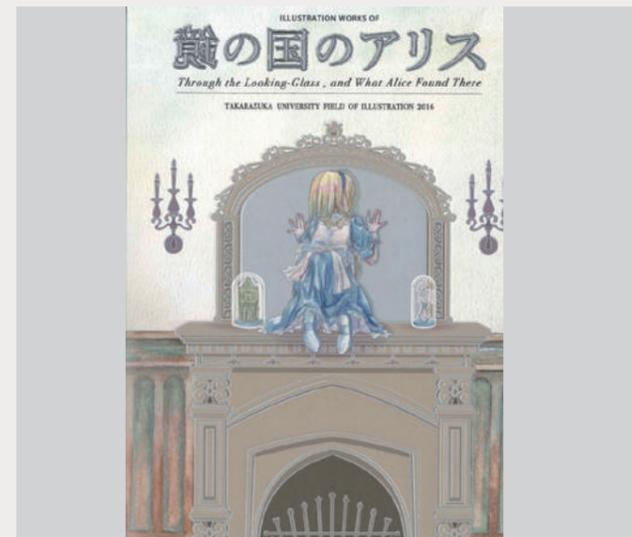
東京メディア芸術学部教授のイラストレーター北見隆の個展「アリスの王国から」を、東武百貨店池袋店美術画廊で開催

宝塚大学東京メディア芸術学部学部長でもあり、イラストレーターの北見隆教授の個展が、東武百貨店池袋店美術画廊で開催されました。この個展は毎年開催されており、今年で22回目を迎えます。9月に発刊された「本の国のアリス～存在しない書物を求めて」のための作品と「不思議の国のアリス」に因んだ作品を中心とした個展です。



イラストレーション領域学生作品集「鏡の国のアリス」を発刊

学生作品集は同領域で毎年制作しているもので、毎年1つの童話をテーマに選び、学生たちの作品を掲載した作品集です。作品集は3年生を中心に編集、制作。学生一人ひとりがそれぞれの「鏡の国のアリス」を描いたものを纏め上げました。同作品集はオープンキャンパスや進学相談会などで無料配布いたします。



ゲスト講師として衣装デザイナー・スタイリストの辻野孝明氏が来学

ロックミュージック概論Ⅱ(担当:伊丹谷良介講師)ではゲスト講師に衣装デザイナー・スタイリスト辻野孝明氏を迎えてトークセッションを行いました。辻野氏はロックバンド「ローリングストーンズ」のギタリスト、キース・リチャーズの衣装デザイナーでありスタイリストとしても活躍中です。今回貴重な衣装も持参いただきロックミュージックとデザインのお話をいただきました。



第15回鎌人いち場にデザイン表現研究室の学生たちを中心参加しました

鎌倉海浜公園(鎌倉市由比ガ浜)で10月16日に開催されたイベント「第15回鎌人いち場」(主催:鎌人いち場実行委員会)に、デザイン表現研究室(渡邊哲意准教授)の学生たちを中心に参加しました。「鎌人いち場」は、誰でも気楽に参加できる横断的なコミュニティ「現代版市場」の復活を目的に、鎌倉NPOセンターの10周年記念事業として始まったイベントです。本学からは、デザイン・ゲーム・マンガ・イラストレーション・アニメーションを専攻する学生がブースを出展しました。来場者の似顔絵を描き、その場で缶バッジを作成する「似顔絵缶バッジ」には多くのお客さんが集まり、好評を呼びました。



進学相談会

11/26 (土) に進学相談会を開催いたします。
午前中には併せてデッサン講習会も行います。

日時: 11/26(土)

時間: 13:00 - 16:00 (受付 12:30 -)

※デッサン講習会は9:30 - 12:30(要予約)

場所: 宝塚大学 新宿キャンパス 新宿区西新宿7-11-1



Oculusを用いたクーロンズ・ゲートVR 体験イベント in大阪梅田キャンパス

宝塚大学東京メディア芸術学部の井上幸喜教授が企画・アートディレクションを務めたPlayStation用ソフト『クーロンズ・ゲート』のVR体験イベントを、宝塚大学 大阪梅田キャンパス (大阪府大阪市) で開催いたします。



日程: 11/26 (土)

時間: 14:00 - 16:00

場所: 宝塚大学大阪梅田キャンパス (大阪市北区芝田1丁目13番16号)

主催 宝塚大学東京メディア芸術学部 / 株式会社ジェットマン

※要申込。詳細はホームページをご確認ください。



来月号もお楽しみに！

今回の新宿企画は東京おもちゃまつりへ行ってきました！本当に色々な方が出店していて、ブンブンコマのおぼあちゃんがとても丁寧に作り方を説明してくれて心があたたかくなりました。

また風邪をひきやすい季節でもあるので手洗い、うがいをして風邪に気を付けてください。

11月になりました。学園祭、ハロウィンが終わり少し寂しい気持ちになりますね。

編集後記

NEWS LETTER 編集部

Editor 金澤 英樹 (本学職員)
ミネシゴ (フリーライター)

Art Director 渡邊 哲意 (本学准教授)
芦谷 耕平 (本学講師)

Designer 小野寺真央 (大学院2年)
松原 麻友 (3年)
石原亜矢子 (3年)
大泉 夏紀 (3年)
木村 奈央 (3年)

『はらぺこ新宿食い道楽』
作 画: あゆ丸 (大学院1年)

表紙テーマ『北風と太陽』
作 画: 高橋瑞希 (2年)



7階図書館に突撃しました!



自慢の漫画棚。膨大な量の漫画があります。



図書館入って右奥にはソファ席も。ゆっくり閲覧できます。



卒業生たちの作品だけが並ぶ棚も。



PCで使うデザインソフトの資料も豊富



図書館担当職員より

全所蔵数の半数以上が芸術関連資料です。4,800冊の漫画も所蔵しています。特色は、美術解剖学やデッサン、漫画・アニメ・ゲームの技法書や資料集、プログラミングやCG技法書を集めたコーナーです。お互いに関わり合いが深い分野の資料を一覧できる棚は、眺めているだけで創作に必要な資料を見つけられるように出来ないか、工夫の末、現在の配置に至りました。このコーナーを眺めて創作のヒントを掴んでいただけたら嬉しいです。